

Ⅲ. 平成29年度活動計画(案)について<協議>

1. 方針

- ①修学旅行の**教育性の充実、安全性の確保、経済性の適正化**を追究し、より良い形の修学旅行の実施を目指す。
- ②連合体輸送の望ましいあり方について研究を深めるとともに、利用の拡大を図る。
- ③関係機関・団体と連携・協議し、望ましい修学旅行の条件整備を図る。

2. 活動のねらい

平素と異なる環境の中で多様な体験を通して、修学旅行のねらいの達成や生徒の社会性・人間性の育成を図り、感性を育む修学旅行を目指す。

3. 活動の大綱

(1) 会議等の日程案

	会議名	予定内容	開催日	時間	会場
総会・研究協議会	総会・第1回	年度計画の審議、決定	6月1日(木)	13:30 ～ 15:30	東京文化会館
	第2回	輸送申込状況、輸送作成基準等の確認他	10月4日(水)		
	第3回	輸送計画の確認・微調整と決定	11月2日(木)		
	役員代表者会	年間活動の総括と次年度大綱検討	2月14日(水)		
	第4回	年間活動の総括と次年度計画	2月23日(金)		奈良まほろば館
研究委員会	第1回	調査研究内容の検討	6月1日(木)	11:00 ～ 12:30	東京文化会館
	第2回	データの分析・考察	10月4日(水)		
	第3回	データの分析・考察、まとめ	11月2日(木)		
	第4回	年間活動の総括と次年度計画	2月23日(金)		奈良まほろば館
第53回研究発表会		実践研究発表等	11月17日(金)	13:30 ～ 16:30	さいたま市・ブリランテ武蔵野
全修協	創立60年記念 第34回全国修学旅行研究大会 (創立60年記念式典、シンポジウム、記念講演)		7月26日(水)	13:30 ～ 16:30	東京・グランドヒル市ヶ谷
	三地区(関東・東海・近畿)修学旅行委員会連絡会 (修学旅行に関する意見・情報交換)		平成30年 1月18日(木)頃	14:00 ～ 16:00	※昨年は熱海方面

<会議出席>

- ・ 役員代表者会(各県2名、定数11名): 役員、各県委員長(部長)、研究委員長
- ・ 総会・研究協議会(各県4名、定数20名): 役員、運営委員、研究委員
- ・ 研究委員会(各県2名、定数10名): 研究委員、運営委員1名
- ・ その他政令指定都市校長会(さいたま市、千葉市)から役員1名参加

< 県別分担事項一覧 > (平成 29 年度～34 年度)

	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度
会長選出県	埼玉県	茨城県	栃木県	群馬県	千葉県	埼玉県
運営委員長	埼玉県	茨城県	栃木県	群馬県	千葉県	埼玉県
〃 副委員長	茨城県	栃木県	群馬県	千葉県	埼玉県	茨城県
研究委員長 研究発表県	埼玉県	茨城県	栃木県	群馬県	千葉県	埼玉県

(2) 連合体計画輸送

1) 平成 29 年度計画輸送の

① 申し込み状況

平成 29 年度修学旅行専用列車の申し込み状況

(単位：校、人)

コース	茨城県		栃木県		群馬県		埼玉県		千葉県		合計		対前年 増 減
	校数	人数	校数	人数	校数	人数	校数	人数	校数	人数	校数	人数	
A	32	4,157	89	12,558	21	1,658	206	35,111	125	20,141	473	73,625	8
B	77	9,631	13	1,075	5	263	41	4,817	24	2,343	160	18,129	-5
C	6	979	2	411	0	0	49	8,706	44	7,858	101	17,954	-8
D 広島	1	150	0	0	2	121	1	209	3	518	7	998	-2
秋季C	1	131	0	0	0	0	18	3,640	0	0	19	3,771	2
合計	117	15048	104	14044	28	2042	315	52483	196	30860	760	114477	-5
東北	0	0	0	0	0	0	0	0	2	385	2	385	-2
山形	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
秋田	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
長野	0	0	0	0	0	0	0	0	7	1,302	7	1,302	5
上越	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	9	1,687	9	1,687	3
総合計	117	15048	104	14044	28	2042	315	52483	205	32547	769	116164	-2
対前年	-1	-234	-4	-116	-4	9	-3	-371	10	1707	-2	1062	

② 割付け日程

コース別設定期間(出発日ベース)・人数・日数

A	B	C	D・広島	東北・山形	長野
5/9～7/9 62 日間 73,625 名 1 日平均 1,186 名 1 日最大 1,250 名 1 日最少 1,051 名	5/28～6/14 18 日間 18,129 名 1 日平均 1,007 名 1 日最大 1,075 名 1 日最少 961 名	春 5/9～6/30 53 日間 17,954 名 1 日平均 339 名 秋 9/10～9/28 16 日間 3,771 名 1 日平均 236 名	5/16～6/1 8 日間 998 名 1 日 1 校 平均 140 名	5/24, 31 2 日間 385 名 1 日 1 校 平均 193 名	5/24, 31, 6/7 3 日間 1,302 名 1 日 1 校 平均 164 名

2) 平成29年度出発式（関東地区公立中学校修学旅行出発式）

- ・平成29年度出発式（関東地区公立中学校修学旅行出発式）
- ・日時—平成29年5月9日（火）午前7時25分～7時35分
- ・7時47分東京発「のぞみ号」乗車校
 - ・牛久市立牛久第一中学校
 - ・常総市立水海道中学校
 - ・桜川市立岩瀬西中学校
 - ・桜川市立大和中学校
 - ・小山市立大谷中学校
 - ・栃木市立東陽中学校
 - ・真岡市立長沼中学校
 - ・佐倉市立佐倉中学校
 - ・柏市立柏第四中学校
- * 関修委を代表して千葉県市川市立第五中学校の小林校長先生、千葉市立有吉中学校の桐原校長先生にご参加いただき、小林校長先生にご挨拶頂きました。

3) 計画輸送の利用校拡大

平成29年度も引き続き、組織・活動への理解を得るため、関修委PR用リーフレットをもとに各学校への啓発に努める。

4) 平成31年度修学旅行の計画輸送策定

計画輸送（連合体）の理念、趣旨等の理解に一層努め、各校が協力し合い全ての中学校が円滑に修学旅行を実施できるようにする。

地理的条件や県レベルの行事等による希望→関修委の役割—平準化。

- ① Aコース希望で、東京近郊の学校は、Cコースの選択も。
Cコースの帰り（東京着）の時間が、平成26年度から30分早くなっている。
- ② Bコースの利用のお願い。また、Bコースをより魅力あるものするため、30分早い出発と30分遅い帰着を働きかけている。
- ③ 平成31年度から新たに北海道・北陸新幹線に定期混乗設定が実現。
引き続き、東北（山形・秋田）・上越方面の新幹線利用の拡大を図る。
- ④ 利用申込みの段階で、東京駅までの継走を明確にする。
- ⑤ 引き続き広島便のPRに努める。また、広島便の利便性を向上させるための改善を働きかけていく。
- ⑥ 申し込み書への記入—乗車駅・降車駅、継走の利用予定等、丁寧に記入を。
申し込み人数を正確に記入（現1年生の在籍数）
- ⑦ 東京都、神奈川県中学校長会が走らせている専用列車と関修委の専用列車の相互利用の可能性を探り、JRへ働きかけていく。

◎割付け・組み合わせから発表までの手順

- | | | |
|-----|-----------------------|----------------------|
| 6月 | ● 1日 総会・第1回研究協議会 …… | 31年度輸送計画の大綱決定 |
| | ● 上旬～下旬 …… | 輸送申込書等配付(各県) |
| 7月 | ● 20日 …… | 31年度輸送申込み締切 |
| 8月 | ● 18日 …… | 申込み集計の事務局送付 |
| 9月 | <事務局にて割付原案の作成> | |
| 10月 | ● 4日 第2回研究協議会 …… | 31年度輸送計画原案提案 |
| | ● 上旬～下旬 …… | 割付原案による確認、調整(各県) |
| 11月 | ● 2日 第3回研究協議会 …… | 31年度輸送計画の決定調整 |
| | ● 24日 …… | 31年度輸送計画発表 |
| 2月 | 関修委ホームページから各学校の決定日を確認 | |
| | ● 8日 …… | 各学校、JR輸送申込書を旅行社経由で提出 |

5) その他

(3) 研究調査活動

1) 研究調査の継続と充実

- ・修学旅行の基本調査とテーマに沿った研究調査と発表。

2) 第53回修学旅行研究発表会の開催

- ・日時 平成29年11月17日(金) 13時00分～16時30分
- ・会場 ホテル・ブリランテ武蔵野 (JR高崎・宇都宮・京浜東北線「さいたま新都心駅」前)
埼玉県さいたま市中央区新都心2-2 TEL 048-601-5555
- ・内容 関修委活動報告、実践研究発表他

3) 修学旅行現地研修会(予定)

- ①金沢市方面現地研修会・・・金沢市を中心とした歴史と文化、伝統。体験学習と宿泊施設等の見学。
平成29年7月30日(日)～7月31日(月) 定員 13名
 - ②東北方面現地研修会・・・青森県、秋田県の歴史と文化、自然・環境等の体験学習。世界遺産見学、宿泊施設等の見学など。
平成29年8月17日(木)～8月19日(土) 定員 13名
 - ③東北・北海道方面現地研修会・・・青森県、函館市を中心とした地域の歴史と文化、自然・環境等の体験学習。班行動における観光施設や宿泊施設見学など。
平成29年8月17日(木)～8月19日(土) 定員 4名
- ※ 出来るだけ、各県からの参加をお願い致します。尚、定員を超えた場合は事務局で調整をさせていただきます。

4) 修学旅行資料「関西の旅」の利用推進

関東地区公立中学校修学旅行委員会の編集・監修による「関西の旅」の利用促進を図る。各学校の修学旅行のしおりと共に製本する方法も可能であり、併せてPRする。

タクシーでの班行動プラン用もあり。

(4) 陳情・要請活動

1) 平成30年度修学旅行費等の国庫補助金増額陳情

平成29年度修学旅行費等の国庫補助金の決定額(単価・円)

行事	学校種別	29年度決定額	30年度要望額	※28年度決定額	
修学旅行	中学校	57,590	60,000	57,590	
	小学校	21,490	25,000	21,490	
校外学習	中学校	宿泊あり	6,100	7,000	6,100
		宿泊なし	2,270	3,000	2,270
	小学校	宿泊あり	3,620	7,000	3,620
		宿泊なし	1,570	3,000	1,570

2) 計画輸送に関する改善要望

重点要望

- ①東京駅までの継走列車の乗り入れと継走特急列車の割引を要望していく。
- ②各駅の団体客の集合待機場所の確保を要望していく。
- ③Bコースの出発時間の繰上げ(30分程度)と東京帰着時間の繰下げ(30分程度)、それに伴う継走列車の運行を要望していく。
- ④Dコース(広島)の設定時間や乗車定員増、京都帰着時間の選択可能を要望していく。

3) その他

(5) 他団体との連携

- 1) 公益財団法人全国修学旅行研究協会との連携
創立60年記念 第34回全国修学旅行研究大会
平成29年7月26日(水) ホテルグランドヒル市ヶ谷
- 2) 関東・東海・近畿三地区公立中学校修学旅行連絡会の参加
平成30年1月18日(木) 頃 関東地区予定
- 3) 首都圏3地区校長会修学旅行委員会連絡会
第1回 平成29年6月28日(水) 全日中会館
第2回 平成30年1月31日(水) 全日中会館

(6) その他

- 1) 情報・資料の提供・発信
各研究協議会・発表会等で修学旅行等の最新の資料を提供する。
- 2) 関修委・全修協のホームページの活用とホームページコンクールの周知により、応募者の増員を図る。
- 3) 各県事務局とのEメール及びWeb ページ活用推進による事務等の効率化とデータ収集の向上。

4. 予 算

(1) 平成29年度支出予算案

(円)

科 目	費 目	予算額	前年予算額	増・減(△)	摘 要
会 議 費	総会・研究協議会 ・研究委員会	650,000	650,000	0	会場費、交通費
	研究発表会	600,000	600,000	0	会場費、設営費、資料作成 費、反省会費
旅費交通費	事務局交通費	120,200	119,300	900	出張交通費
通信運搬費	通信運搬費	50,000	50,000	0	会議案内、資料送付等郵 便・宅急便料金
印刷製本費	印刷費	300,000	300,000	0	輸送計画関係書類、調査研 究関係印刷物
助 成 費	各県活動運営費	779,800	780,700	△900	各県修学旅行委員会助成金
支出合計		2,500,000	2,500,000	0	

(2) 各県修学旅行委員会(部)への活動助成金

関修委より、各県修学旅行委員会(部)の活動運営費(会議費、郵送・通信費、事務費等)の一部として助成する。なお、各県は助成金の支出報告を毎年度行うものとする。

ア. 県助成金算出基準

算出式 定額(全設置校対象)100,000円 + (連合体参加校数×300円)

※研究発表県には、50,000円を調査研究費としてプラスする。

※連合体参加校数は28年度第4回研究協議会開催日時点(29年度計画校)の校数。

(校、円)

県 名	定 額 (A)	連合体校数	利用校金額 (B)	研究発表県 調査研究費 (C)	助成金額合計 (A) + (B) + (C)
茨城県	100,000	115	34,500	—	134,500
栃木県	100,000	108	32,400	—	132,400
群馬県	100,000	30	9,000	—	109,000
埼玉県	100,000	311	93,300	50,000	243,300
千葉県	100,000	202	60,600	—	160,600
合 計	500,000	766	229,800	50,000	779,800